

林檎

岩手Mac友の会

Vol.7, No.3 1995.8.19

Iwate Macintosh Funclub



Home Page

上の画像はアップルコンピュータ株式会社（以下 AJ と略）の User Group Connection が UG のために7月に作成した「User Group CD-ROM」の Preissue にあったものです。元々はインターネットにある、AJ の WWW: World Wide Web のホームページにあるものですので、インターネットに接続が可能な人は既にご存じのものです。

HTTP の活用

この例のように WWW で使用されている、HTTP は、ビジュアルな GUI

環境を簡単に実現できることから、インターネットだけでなく配布資料や個人のマルチメディア・データベースのオーサリングなど、幅広く活用されています。

IMF's Home Page

MEGUMI でご存じのように、IMF の有志によって、インターネットの接続実験が行われていますが、これを利用して IMF のホームページを作成して公開したいと思います。ついでにはホームページのデザインやアイデアを募集します。我と思わんかたは、どんなものでも結構ですので、MEGUMI に発言をお願いします。

MMM'95

恒例の MMM が今年も開催されます。昨年は東北 UGC として、日中の開催でしたが、今年は一昨年の開催で好評だった「ぬくもりの里 NUC」でオールナイトで開催します。詳しくは6ページの開催案内に載っていますので、御一読のうえ、奮ってご参加ください。

なお、このため 10月の例会はお休みとなりますのでご注意ください。



Inside

私の Maclife	2
快適インターネット生活	4
MMMへのご招待	6
私の Mac life	8
山の花	7
私の Maclife	8
理科の楽しみ	10
初心者セミナー顛末記	12
林檎ギャラリー	14
編集後記	15
会員名簿	15
掲示板	16

私のMac and Canoe Life

一井 誠

Mac Life

私とパソコンとの関係は、小学生時代に電気屋(?)の店頭のパソコンで、足し算をしたり、画面に円を表示して、「ヤッタヤッタ!」と喜んでいた時から始まり、その後、病院の事務屋となり、職場で使い始め、その表現力のなさにガッカリきたのを経て、Macに憧れるという流れでした。パソコンで、案内状や広報紙などをつくろうとしても、文字の大きさを変えられない、図形をつくれぬ、なんにもできませんでした。Macのことは雑誌で知り、その使い易さはなんとなく知っていましたが、あまりに高価で、当時の私には全く手が出せませんでした。独身で食べなくての困るのは自分だけだからいつも好きなものばかりに金と時間をかけていた私も、さすがにこのときは悩み、結局あきらめるということになったのです。しかし、Macのあの四角い筐体やマウスは、カキカキとした形ものが好きな私にとって外観でも憧れのマトとなってしまったのです。

6年前に盛岡に転勤となり、仕事を通じて野村さんと知り合い、公私ともに深くお世話いただくことになりました。仕事の合間、マックの話聞き、一つひとつの操作にひそむ素直な考え方に驚いてました。野村さんの会社の机にあったMacもみせてもらい、フォルダーがヒューッと開く動作、図形は描けるわ、ファイルのコピーはアイコンを重ねるだけわ、、、すべてが私にはワクワクものでした。だいたい、字の

大きさを変えることができることにでさえカンドーしていたのですから、今までできなかったことが意図も簡単にできてしまうMacは私の心にどれほど神々しく思えたか想像できるでしょう。

私がIMFに入会するキッカケとなったのが、野村さんからみせてもらったIMFの会報です。その中の「山の花」は今でも忘れられない1ページです。その号には、確か「ミヤマオダマキ」の写りが載っていて、花についた露までハッキリと写ってました。私も小学生の頃から、山や星が好きで、よく天体望遠鏡やカメラをもって高いところへ行き、写真を撮ってました。当時、自分の撮った写真や山を歩いた記録をMacでまとめられればと考えていて写真を印刷するなんて雑誌や本をつくる位の力と金をかけなければできないものだと思っていましたので、その会報の「山の花」には心からカンドー、入会させていただくことになったわけです。

3年位前にLC IIIを購入。どんどん早い機種と出会うたびにその速さには多少ガッカリしますが、今の私にとってかかせぬ存在には変わりなく、日々、私の仕事の手伝いと妻のゲームのお相手という重要な任務を果たしています。購入以来、Macに関して技術的には全く進歩しない生活を送っているなあと反省している最近です。

貧弱な私のMacライフのおかげで、これ以上話が続きなくなってしまう

ので(トホホ)、私の生活?の一端を紹介をする意味で、最近ハマっている「川下り」について、書きたいと思います。

Canoe Life

5月に以前ひと冬かけてつくった(組み立てた)カナディアンカヌーで北海道の釧路川を下って来ました。

カナディアンカヌーとは、腰までスポッと入るカヌーとは違って、高松の池に浮かんでいる手漕ぎボートの幅を縮めて、前後とも船みたいにとんがらせた形の船(?)です。基本的に2人で漕ぎますが、テレビのタバコのコマーシャルのように1人でも漕ぐことはできます。



数年前に友人Nとゴムボートでキャンプをしながら北上川を盛岡から水沢まで下ったのをきっかけに、川を下る心地よさ、水面から見る風景にすっかりハマってしまいました。

北上川の川下りを肴に飲んで、酔った勢いでカヌーをやるということになり、「カ

ナディアンカヌーは20万円もするから高い」→「ならば、作る!」→「雑誌にキットがあった!」→「それならいっそ、冬の間に作って、春にカヌーといえば釧路川の『釧路川』を下るといのはどうだ!」→「なんだ、湿原の中をゆったりと野田知祐のようにくだらう」。酔ってるときの話は単純でわかりやすい。結局88,000円のカヌーのキットを購入、11月から3月までかけて作り、4月に進水、練習して、ゴールデンウィークに北海道へ乗り込むことになったのです。土曜の午後から日曜日にかけて作業する週末が続き、6か月近くかかって、出発の1週間前にやっと長さ4.6mのカナディアンカヌーが完成。岩手での進水、練習はできず、結局そのまま釧路川に持ち込むこととなってしまいました。

釧路川は、北海道の東側に位置する屈斜路湖から釧路市まで流れる全長154Kmの川です(兩岸をコンクリートで固めた直線工事がされている所があるので、実際は、110Kmくらいだそうです)。中流から下流は、日本の湿原の6割を占めるといふ巨大な釧路湿原の中をクネクネゆったりと流れています。

フェリーで北海道へ渡り、400Kmをひた走り、北海道東部の屈斜路湖に到着。湖畔の露天風呂のあるキャンプ場にテントを張り、屈斜路湖での浸水、いや、進水を無事終わることができました。

4月の釧路は春というにはまだ早く、気候は盛岡より1か月ほど遅く丁度、盛岡の3月下旬から4月上旬くらいの気候です。雪が降る可能性があり、川下り当日もやっぱり真横の雪でした。

1日目。屈斜路湖からの源流部約20Km。このコースは下流の釧路湿原の中



中とは違い、川幅が狭く、流れが速いのです。小さなクネクネ蛇行状態で、倒木や寝木が多い大変スリリングなコースで、上陸できる所も数ヶ所しかない、いわば初心者無理なコースでした。まあ、怖さを知らないビギナーですから、引っ込むことは出来ず、真横から雪が降ってくるという悪天候

でしたが、強引派のNに押され、出発。本を読んで、曲がり方など漕ぎ方の理屈はわかっている、2人とも漕ぐのは初めてだったので、自分たちが作ったカヌーが浮かんでという実感を感じる暇もなく、必死に舵をとらなければなりません。障害物にぶつかりそうとき、進行方向と逆に漕ぐと、カヌーは水面にピタッと止まり、さらに強く漕ぐとカヌーは川上に向かって進み出すのでした。ゴムボートとは比較にならない推進力と操作性。二人はカヌーの底力を知らされました。力のある人間だったら、川上りもできそうな感じなのです。カヌーってスゴイ。カヌー初心者我々は真面目に感動しました。それからクネクネ蛇行状態の川を必死で下り、ラッキーなことにひっくり返りもせず、無事20Km下流の街についたのです。

2日目はいよいよ湿原の中へ。釧網本線を利用して出発地点へ移動。湿原の入口付近からスタート。湿原の中でダンチョウヅルを見かける。流れユツリ、心ユツリ。天晴れ。ビールを飲みながら、カヌーは湿原の中に流れています。今までの苦勞と昨日のヒヤヒヤを差し引いても余りある快適な川下りが続きます。川は大きく蛇行の連続。広大な釧路湿原の中は



何もかもがユツリでした。ソーセージをつけて釣糸を垂らしてみると、40cmもある魚がすぐかかってくる。時折、カヌーや釣人と会い、「ニカ!」と愛想を降り巻きながら、ひたすらひたすらゆったりとした川下りでした。

この日も20Km余を下り、道路と交差しているところで上陸。無事、なんとか手作りのカヌーは釧路湿原を下ったのでした。

カヌーを車に積み終わる頃丁度、夕暮れ。太陽が釧路湿原の中に落ちようとしていました。高台に登り、見渡す限り広がる湿原を眺めると、広がる湿原の向こうに釧路の街の明かりが光っています。夕日がゆったりと蛇行する釧路川の水面に反射し、赤く輝きます。言葉をなくして、じっと立ち尽くして、ユツリ釧路湿原、釧路川の旅は無事終わりです。

最近、周りが忙しくなかなかな自由に行動出来なくなってきましたが、次の秋田の雄物川計画をNとたくらんでいるところです。ぜひ、皆さんも機会があったら川面から眺めて見てください。

カヌーはその後、北上川を下ったとき、南大橋の下流でひっくり返り、テトラポットに引っかかり真ん中がバキッと壊れてしまうというアクシデント。今度はそのカヌーの修理。家の脇に吊しておいたら、いつの間にか蟻が巣を作っている。今年の春にキレイに修理され、ペンキを塗り変え、カヌーは次の川旅を待っています。

まとまりのない話でしたが、このへんで失礼します。

編集 工藤

私のインターネット活用法

by我妻則明

●はじめに

マッキントッシュを購入したのが今年の5月初旬ですから、まだ2か月もたっていないにもかかわらず、このような原稿を依頼されてしまいました。しかし、マッキントッシュについて書くのではなく、インターネットについて書くのであるから、少しは皆様の役に立つことが書けるかもしれないと思い、お引き受けしました。

初めに、簡単に自己紹介をいたします。私は、岩手大学教育学部養護教育学科で養護学校教員の養成をしております。担当は、障害児保健学です。ですから、私のインターネットの活用は、医学系を中心に活用しているということになります。ただ、それだけですとあまり皆様のお役に立たないと思いますので、最初に使用しているソフトを挙げて、そのソフトを使ってどのようなことをしているのかを順次説明をいたしたいと思います。

●Fetch

最初に、ソフトを手に入れるためのソフトを紹介いたします。これは、他のサーバーなどにあるソフトをインターネットを経由して自分のマックに取り込むためのソフトです。これ以外に、必要なソフトを世界中から捜して自分のマックに取り込むarchieやAnarchieといったソフトもあります。

では、これらのソフトはどこから入手するのかといいますと、実は、岩手大学にはこれらのソフト以外にも最新版のフリーウェアのソフトを集めて配布してくれる先生がおります。しかも、この先生のマックには、AppleShareでアクセスできますので、藪先生が募集した方が岩手大学のLANに参加する形になるのなら、簡単に入手できるはずですよ。必要があれば、「めぐみ」で入手方法をお教えいたします。

●Eudora

これは、電子メールを送受信するソフトです。電子メールは、日本国内ばかりでなく、海外にも簡単に手紙を送ることができます。アメリカには、約10秒で着信します。しかも、これが無料なのです。

この電子メールを使用して、登録した人たち全員に電子メールを配信するメーリングリストというものがあります。これによって、あるテーマについて全世界の人達が情報を共有したり、討論に参加することができます。

私は、東大医学部健康科学・看護学科疫学・生物統計学講座が事務局になっているMedical Statisticsというメーリングリストと、イギリスのUniversity of SheffieldのDepartment of Biomedical Scienceが事務局となっているManaged Behavioral Healthcareというメーリングリストに登録しております。

これらのメーリングリストにより、

仕事の上で有益な情報を得ることができます。

●NewsWatcher

これは、特定の話題についてのニュースグループがあって、いろいろな情報がニュースサーバーに掲載されており、それを読むことができます。このニュースは、パケツリレーのような形式で、サーバーからサーバーへと順次世界中のサーバーへと配信されていきます。

私は、岩手大学内のニュースグループ以外は、fj.life.healthとfj.sci.medicalを購読しております。このグループは、メーリングリストよりは専門性の薄い軽い話題が多いのですが、時々仕事に有益な情報がありますので、時間がある時は読むようにしております。

●NCSA Telnet

このソフトは、他のコンピュータにアクセスするためのソフトです。近いところでは、岩手大学情報処理センターのメインフレームにアクセスして、Statistical Analysis Systemという統計計算用のソフトを使用します。国内では、学術情報センターや日本科学技術情報センターのデータベースを使用しています。

海外では、電子図書館にアクセスすることができ、例えば、Harvard University Countway Library of Medicineなど世界中の図書館から資料を得ることができます。

●Netscape

このソフトが、今インターネットで一番先進的なソフトです。言葉で説明するよりは、一度御覧になると、そのすばらしさがお分りになるはず。世界中で、いろいろなサーバーがありますが、仕事の上で有用なものは、国内では、東京大学医学部健康科学・看護学科と大学医療情報ネットワークのホームページがあります。海外では、World Health Organization, National Library of Medicine, National Institutes of Health, Stanford University Medical Center (このホームページを掲載しておきました) などがあります。さらに、このNetscapeは検索機能がついていて、世界中のインターネットのサーバーを仮想図書館と見立てて、調

べたいテーマについての検索ができます。

さて、これらのソフトを使ったインターネットの活用例として、学生の卒業論文を指導した例を挙げます。ある学生が、ダウン症候群という障害児の健康管理について養護学校教師へアンケートをとるといテーマの卒業論文に取り組んでいました。

これに対して、Netscapeの検索機能を使って、アメリカのダウン症候群のホームページにMedical check listがあるのを発見しました。これを、一度私のマックにファイルで落し、これをEudoraを使って電子メールで、日本の国立遺伝学研究所のサーバーに送りました。この国立遺伝学研究所は、生命科学に関する英日翻訳サービスの試験運用を無料でしておりまして、英文を送ると数秒で翻訳した日本語を返信し

てくれます。このことは、私はNewsWatcherでfj.sci.medicalのニュースで知ったのです。さて、送信されてきた日本語を学生に渡し、アンケートの原案を数日で作成することができたのです。

このように、インターネットを使うと、地理的な距離というものがなくなって、全世界的規模で情報の交換ができるようになります。英語の壁というものがありませんが、これも新聞報道によると、英日翻訳機能を搭載したNetscapeが8月上旬に発売されるとのことで言語の壁もまもなくなくなると思います。

皆様も、インターネットを御自分の仕事や趣味に活用されることを願っています。

編集 藪 敏裕

STANFORD UNIVERSITY MEDICAL CENTER

Welcome

Education

Health Care

Research

Technology

Beyond SUMC | Finding People | What's New | Search | Help

Stanford University Medical Centerのホームページ

MMM '95 開催案内

MMM '95 準備委員会



©1995

アップルコンピュータ株式会社

例年秋の恒例行事として定着した感がありますMMMですが、今年はまた例年にならない、一泊二日で開催することとなり、このほど日程が決まりましたので、ご案内申し上げます。

宿泊施設の関係で先着30名で参加受付を打ち切りとさせていただきますので、受理できなかった場合はご容赦下さい。なお、時間の都合などによる途中参加や退場は自由ですが、それによる料金の割引きはいたしかねますので、あらかじめご承知おきください。

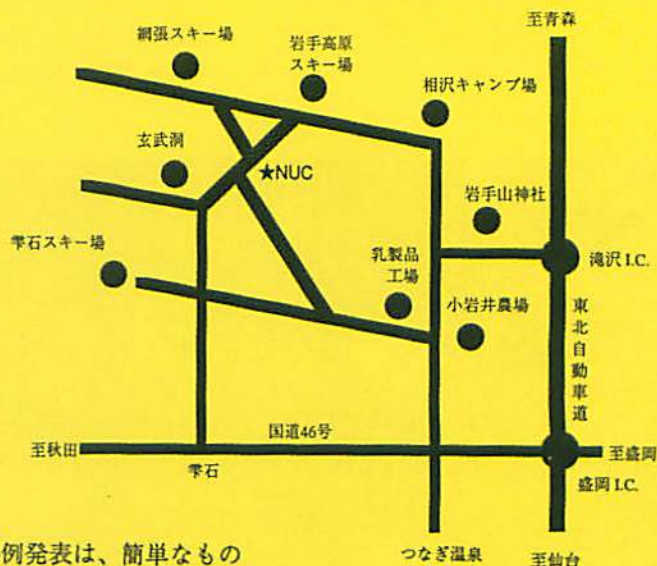
開催要領

主催：岩手Mac友の会有志
 日時：1995年10月21日（土曜日）14:30～
 22日（日曜日）10:00AM
 場所：ぬくもりの里NUC（ヌック）
 岩手県医療局職員互助会福利厚生施設
 岩手県雫石町長山52岩手山7
 Tel：0196-93-3861（温泉「露天風呂」あり）
 参加費：1万二千元（一泊二食付き）
 参加方法：現地集合(14:00)、現地解散(10:00)

申込要領

官製はがきまたは、Faxで

1. 氏名
 2. 性別
 3. 住所（〒含む）
 4. 連絡先電話番号又はFax番号
 5. E-mail address（もしあれば）
- と、☆事例発表のテーマ（発表時間15分程度）を明記して、
 〒020-01 盛岡市北松園3-34-2 野村行憲
 （Fax:0196-61-9544）
 まで送付して下さい。
 申込締切：1993年9月末日



事例発表は、簡単なものでも、下らないものでも結構です。（Macに関わる話なら内容を問いません。）

申込多数の場合、事例発表テーマによって優先的に参加を決めますので、テーマを記入している方が有利です。

定員の関係で参加をご遠慮いただく方には、郵送にてご連絡を差し上げます。



Script and edit
 by Y. Nomura.



6月の日曜日に早池峰で、光輝く黄色のナンブイヌナズナに見ほれていました。その時、立ち話をした初老の人が「岩手山の焼走りのコマクサを写真に撮らなければモグリだ」と教えられました。焼走りの情報は誰もが異口同音にあのコースは大変で、2度と行くものではない等でした。しかし、一人だけ「焼走りのコマクサは日本で、62才の女の私でも登ったので是非挑戦してみてください」と励ましてくれました。

7月15日は学会で行けず、止む終えず7月22日夕方焼走りのオートキャンプ場に到着、焼き肉と生ビール、白ワイン、赤ワイン。夜が更けると星がどんどん増えてきて、満天に星が降るよ



うに輝いて幸せいっぱいでした。翌23日5時、だらだらの林道をフィトンチッドをいっぱい吸い込みながら歩きました。少しづつ勾配がきつくなり、2時間ばかりで噴出孔にたどり着き、少し歩くとコマクサの株があちこちにたくさん有りました。

コマクサは花の形が横から見ると馬の顔に似ているので駒草と名付けられました。英語での俗名はBleeding heartと言うように花の上の方は赤で、下の方はピンク色でその濃さは様々です。他の植物を寄せ付けないような火山による砂礫の荒れ地に孤高に咲いているので高山植物の女王と言われていました。しかし今回は、残念ながら花の時期は過ぎていました。登るのが二週間早かったら！ それでも、その気品を見事に保っていました。

来年こそは、最盛期の女王陛下に拝謁の榮譽にあずかるべく心に誓いました。





私のMacLife

山形村 久保司

あこがれの「マック」に私が出会ったのは、4年前の平成3年の枯葉の舞散る季節のことでした。

東京でデザインのお仕事をされている方々へ用事が有り事務所にお邪魔した時のことでした。整然とした事務所の中には私がいままでに会ったことのないフィーリングのMacintoshという魅力的な名前のパソコンが並んでいました。

今までパソコンといえば「98」と信じ切っていた私にとってはとても新鮮で刺激的でした。中でも一番印象的だったのは、テーブルの片隅にたたずんでいた今思うと「プラス」でした。綺麗に片付けられたテーブルの上に一人ポツンとたたずんでいる姿はとても魅力的で一度で恋してしまいました。決して派手派手しさはないのですが清楚な横顔は見ているだけで胸がドキドキしました。それにあのふくよかなマウスとキーボードの感じは今でも忘れられません。あの感触は一生忘れないと思います。

いま私は、岩手県の北部、久慈市の西隣にある人口4,015人の山形村というところに住んでいます。山形村のマック人口は私の調査では3名です。私の職業は、地方公務員です。山形村という自治体の職員です。マックにであったきっかけは、平成3年度に民間企業での研修を1年間受けることになり盛岡で生活したその1年間に沢山の友達と知合い「プラス」を始め多くのMacintoshと出会ったからです。とても刺激的な1年でした。

うまくいかない私のパソコン選びは15年くらい前から始まりました。就職した当時初めて購入したパソコンが、「シャープMZ-721」とか言うもので、自分がキー

ボードをたたいたものがロールの用紙に印刷され出てきたときは大変感激しました。

当時は建設課という部署に勤務しており、さほど複雑でもない計算を「ベーシック」を使い計算していました。

その後、「エプソンHC-20」、「エプソンHC-88」、「NEC、PC-8801」、「NEC、PC-8801mk1」、「NEC、PC-9801LV21」と投資しました。

なかなかこれはと言うものに出会えなかったのですが、「98」に出会いその目的は一応果たせたと思っていました。

その頃にはやっと職場にも「PC-98」が入りはじめました。その後は、「PC-9801LV21」と職場の「98」とを使いワープロやデータベースなどを利用していました。

しかし、パソコンを自分の仕事や趣味の便利な道具として使いたかった私にとって、説明書を読みパソコンを使うと言うことはとても辛い作業でした。MS-DOSを理解し、使いこなすことは私にとってかなり

の労力と時間を使用したと思っています。しかし、アプリケーションソフトを使いこなしたときの便利さを思いながら、頑張っていました。

ところが特にMS-DOSが優秀にバージョンアップするにつれて、わたしの「LV21」では知力と財力が追いつけなくなってきました。職場の「98」もどんどんシステムが大きくなり、それがイヤな人は、ワープロからパソコンへ移ってこなくなってしまいました。

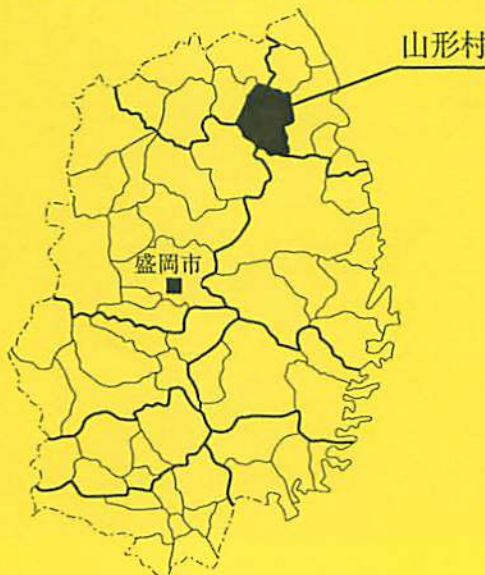
私の赤い糸で結ばれたパソコンは……そんなとき、Macintoshと出会いびっくり！したのです。なぜこれまでMacintoshに出会えなかったのだろう。と思いながらも「クラシック」を購入してしまいました。価格とスピードには少し不満が有りましたが……

えんがなかったMacintoshも今では私の部屋に「クラシック」とLC520の2台が並んでいます。Classicは、部屋のインテリアとこどもたちの楽しいMacになってしまいました。LC520は、文書作成と住所等の管理がほとんどです。

おおくの情報を入手するために最近通信を始めました。メールの交換はとても便利です。

私は手紙を書くことは嫌いではないのですが、スピーディな連絡ができる通信に感激しています。また、ファクシミリが無いわが家では、通信を利用してファックスを楽しんでいます。田舎に住んでいればこいろいろな手段を利用して、多くの新しい価値のある情報を入手しようと思っています。

すでに情報化時代といわれて長い訳ですが、私の住む山形村にもたくさんの情報は



押し寄せてきます。ただ一方的な情報がほとんどです。内容はともかくただ受けてよくなるものです。より良い情報を受けるためにこちらからも情報を送ることができる、相方向の情報流通ができればと思います。

そのためにも多くの情報を自分自身からも発信したいと思っています。マック暦はもうすぐ4年になるのですがまだまだ初心者です。

皆さんマックのことをはじめいろいろとお教えてください。

おまけとして私の趣味などをご紹介します。

■その1：アマチュア無線

妻を初め多くの周囲の人達からは、「暗い！」といわれるのですが、アマチュア無線です。交換の「JF7VHK」という局名です。アマチュア無線も楽しい情報交換の手段です。アマチュア無線では、更新した際に「日時」「場所」「局名」などを記録しておかなければなりません。交信した局数が多くなると管理が大変になります。そこで今マックを使って管理したいと考えています。

できれば最近使っていないかわいい「クラシック」にその仕事をしてもらえないだろうかと思っています。

マックが大好きでアマチュア無線も大好きな人は、ぜひお相手下さい。車からは14.4MHz、自宅からは、3.5MHzと7MHzに出ています。多くの情報を入力すると言う点では、パソコン通信と同じで一時的に全国各地の人達と話が出来ると言う醍醐味は、実際マイクを握って見ない



と分からないと思います。

■その2：ゴルフ

最近、ゴルフを始めました。まだ2度しかコースには出たことが有りません。ゴルフが楽しそうだったことが始めるきっかけの一つですが、ゴルフと言う趣味を通じて沢山の友達とお話が出来たと言うことが最大の理由です。いま、りんごのマークのゴルフボールはないものかと探しています。

■その3：水泳

体力維持のために水泳（遊泳）をしています。りんごのマークの水着や帽子をご存じの方ご連絡ください。

■「平庭高原ファン倶楽部」について

「平庭山荘」は、玄関からは30万本ともいわれる白樺林が一望でき、建物の廻りはスキー場になっています。この施設は私たちにとっては、大切なお客様を迎える迎賓館です。

そんな「平庭山荘」で知合いになった人や個人的にお世話になっている方々から「平庭高原ファン倶楽部」に入会していただいています。この倶楽部は、入会金や会費、会則などはありません。私が入会していただきたい方に勝手に会員になっていただいているものです。

現在会員は42名で北は北海道から南は山口県まで嬉しいことにアメリカとドイツにもいらっしやいます。

そんな42名と平庭高原の私をつなぐ方法として「平庭高原ファン倶楽部通信」を一方的に発行しています。新聞や雑誌、その他のマスコミでは取扱わない小さな小さな情報ですが一生懸命発信しています。

どこにも無いとても個性的な情報です。そんなとき活躍するのが私のMACです。住所管理や編集にととても強い見方です。私の様に編集デザインの知識がなくても見よう見真似とMACのおかげでこんな楽しい活動ができます。

これからもMACのお世話になりながら楽しい「平庭高原ファン倶楽部通信」を発行し続けたいと思います。

■最後に！

私のようにふだん人口の少ない環境に住んでいるとなにをするにもいつも同じメンバーになってしまいます。

しかし私はいろいろな方法で沢山の友達



▲「平庭高原ファン倶楽部通信」
A4判3つ折 隔月発行

の話が聞いてみたいと思っています。Macintoshとの出会いの様に刺激的な体験を期待しています。

「めぐみ」も私にとって大切な情報源です。私は時間や電話回線の都合などで手軽にすぐアクセスできる状態ではないのですが、早起きが出来た日などは仕事にでかける前にアクセスして会議室やメールを見るようにしています。

会議室などはまだ見るだけですが、近い将来ぜひ参加したいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

・・・ 編集・レイアウト





NHKテレビの歌謡ショウは結構楽しめる。楽しい歌、懐かしい歌手、心踊るテンポ、安らかなメロディ。最近の下手な歌手、無理なリズムの新しがりの歌よりかずっと聞く価値があろうというものだ。そのうえ、昔のトップテンなどの騒々しさや、紅白歌合戦のお祭り騒ぎより、歌を聞かせようという姿勢がよいし、舞台づくりもなかなかのものだと思うのは中年をすぎて初老に突入したおばさんだけだろうか。

歌手をいかにきれいに見せ、またその気にさせて歌わせるあの青い色、黄色い色、とりどりの色のレーザービームはとてもきれいに見える。でも、きれいで、チリひとつない空間ではあの光の美しい色は目に入らないのだ。

.....

高校一年のときだった。業間休みも終わって席につき、次の授業を待っていたとき、窓からの日差しが強いので、白いカーテンを引いていたその隙間から、一条のひかりが教室のなかにさしてきた。休み時間に

妙齢の女子高生が動きまわったあとなので、ほこりがいっぱい舞っていて、その埃が太陽光線の入射を明らかにしてくれた。その光の道を見たとき、あっちゃんという気のあった友人と、ほぼ同時に「チンダル現象！」といったのだった。「チンダル？チンダル？やっぱりチンダルだよー！」とって笑いあったあの状況が今でも目に浮かんでくる。

可視光線が入ってきても、それ自体では光を光としては認識することはできない。[透明物質中に多数の微粒子が混在している時、光が粒子に散乱されて入射光線の通路が明るく光って見える現象。Tyndall phenomenon]と日本語大事典に書いてある。要はごみ、チリがたくさん浮かんでいる空間や汚れたプールは光の道筋をきれいにはっきりと見せてくれると言うことだ。

歌番組で歌っている歌手は、あの埃だらけのスタジオで大きな口をあけて歌ってのどを痛めないだろうかとひそかに心配している。

.....

大学時代、生理学で血液細胞の顕微鏡観察の実習があり、教授が、ニュウトンのリングを作りなさいと言った。とにかくそのときの実習はべつに困ることもなくすませたが、帰宅してから、父に「ニュウトンのリングで何？」と聞いた。お前はそんなことも知らんのか、と教えてくれた。

庭にガソリンの入ったドラム缶があるだろう？雨が降って水たまりがそのそばに出来、雨があがって陽がさすとそこに虹が見えるのにお前気がついてたか？

うん、知っている。

それがニュウトンのリングだ。相接する屈折率の異なる物質に光が入ってくると、光は、屈折し分散され虹を生じる。間に空気があれば虹は生じない。スライドグラスの上に、カバーグラスをのせ一杯押さえつけるとその間の空気が押し出され、二つの異なる屈折率をもったガラスが密接する。そこに光が入るとその隣接面で光は分散され虹を生ずる。ガソリンは油だ、油は水より軽い。水たまりの上にガソリンは薄い膜を作って乗っている。そこに



ニュウトンのリングが出来るのだ。
解ったか？

.....

私は、中学までの理科が好きだった。高校に入っても一年、二年で学んだ生物、化学は楽しかった。ところが、三年になって、物理の授業は苦痛だった。ちっとも面白くなかった。上下巻に分かれた青色の表紙の教科書の体裁はいまでも覚えているが興味をひかれなかった。中学の時には、電気のところ、磁界のところ、うきうきして次の授業が楽しみだったのを思い出す。どうして、高校の物理は楽しくなかったのだろうか？自分の学ぶ姿勢が悪かったのだろうか、それとも、興味を引く教え方ではなかったのだろうか。物理は物の理り（ことわり）でしょう。何難しくかんがえているの！と高校の同級生が友達に言っていたことがある。父からニュウトンのリングを教えてもらった時、私は光の直進性、屈折率、比重、ということのほか、身の回りの色々のことがらを良く観察しそれがなぜそうなるかを考える事の楽しみを学んだ。

.....

日頃お行儀が良く、丁寧な方は、一度お茶碗にお湯を入れ、そのお湯をお茶の葉の入った急須に注ぎ入れお茶

をいれる。お湯をさます容器さえあるほどだが、お茶碗も適度に温まるので、お茶碗方式の方が良いようだ。お茶をいれるとき熱い温度でいれると、苦くて、うまみのあまりないお茶ができあがる。高級煎茶、玉露では、必ず沸騰させ、いったん冷ました80℃位のお湯で、30秒ないし1分かけて入れるのが、甘く、うま味のあるお茶をいれるコツだ。（ちなみに、私はおっとり型でないので上煎茶くらいのを90℃程度でさっさと煎れるのがむいていうようだ。）

ある成分を抽出するにはその至適温度というものがその成分固有にある。うまみ成分の抽出至適温度も沸騰点よりかなり低く、逆に苦みの抽出至適温度は高いところにある。

水だし珈琲も、うままとまろやかさが抜群で苦みをかんじさせない。濃くて、苦い珈琲が飲みたかったら、豆を細かく挽いてお湯をゆっくりと注ぎいれる。あっさり好みなら荒く挽いてすばやく入れる。これもねらった成分をひきだすための一つのテクニックであろう。

お正月、お雑煮を作るとき、とりがらのスープをとるには決して煮立たせないこと。煮立たせると、ゼラチン質が溶出してしまう。こぶも煮立たせないこと、高温にしてしまうとぬめりがでて上品な澄まし汁ができない。削った鰹ぶしは沸騰したお湯にいっきにいれる。煮干し、焼き干しは水からじっ

くり、と、それぞれに適した温度があるから、各々を別々に濃いめに作って合わせる。昔からのやり方には科学的根拠がちゃんとある。

.....

こういう事を小難しいと思う人は、生活のなかの楽しみの半分を味わうことなしに生きていると思う。こんな事は理屈で、勉強だとだけ思いこんでいる親、特に母親は、勉強しろ勉強しろとだけいって生活のなかでの知恵と知識のたのしさを次の世代に伝えることができないのではないだろうか？

勉強することは決して悪いことではない。勉強し、知識を身につけ生活にいかし、楽しんでこそ学んだことが生きてくる。数学なんて役に立たないとは良く聞くことだ。数学の大切さは、考え方の道筋を身につけることにあると私は思っている。理科は本当に暮らしに密着している。生活科などと何も名前をこねくり回すことはないのだ。理科を理科のまま楽しむ親とその子ども達が増えてきた時、きっと日本の未来が開けていくように感じる。

まちがっているだろうか？

編集・レイアウト



Mac入門講座顛末記

はじめに

7月1日(土)、第3回目の初心者セミナーを終え、ほっと一息ついているところに同僚の安倍から、「林檎にMac入門講座のこと掲載することになったから、佐藤さん書いてもらえないだろうか。」(当然、原文は方言混じりである)と話し掛けられ、疲労で思考能力が低下している私は、二つ返事で引き受けてしまいました。よく考えてみると、ここ数年まともな文章を書いたことがありません。生徒の読書感想文を読み、何でこんな下手な文章しか書けないのかと説教することは度々ありましたが、いざ自分が書く段になって、ほとほと困り果ててしまいました。自分が出来ないことは生徒にも要求するものではないと、自戒の念にかられながら、今書いている次第です。IMFの方々に大変お世話になりながら、何とか3回の講座を終え、私なりにまとめてみたつもりですが、なにぶん、緊張の中の出来事で、記憶が定かでないところが多々あります。書き漏れ等がありましたら、ご容赦願います。

Mac入門講座をやろう!

昨年の4月からMacを学校に導入しましたが、気づいたら、担当の安倍、柳田、私の3名しか利用者がいません。様々な面(成績処理、入試等)で98は活躍していましたがMacは授業以外にニーズがありませんでした。せっかく、インターフェイスがいいコンピューターを選択したつもりが、先生方に広まらなければ意味がありません。焦燥感にかられながら、校務の忙しさで、布教活動は棚上げにされたまま、時間だけが過ぎ去っていきました。ようやく校務が一段落した3月、実は本校教職員を対象に、ワープロ講

座を実施しましたが、なんと参加者2名(…講師の人数の方が多い…)という状況で、弱気になった時期もありました。月が替わって4月、新年度スタートに気合いを入れ直し、IMFの方々の温かいご支援を頂きながら、5月から3ヶ月間、月1回の割合で改めて講座を企画、めでたく学校長からの承認も得られ、実施に踏み切りました。

かず、緊張しているのが伝わってきました。後で、安倍曰く「何が緊張したかって、IMF会長の野村さんが入ってきたときが一番緊張した。Macを熟知している人の前で、間違ったこと言えないから、頭に血が上ってカーツとしてしまった。」だそうです。一般の受講者の方々には伝わらなかったようですが、同僚の先生方からは、「普段の安倍さんらしくないな。」と、すっか



5月13日(土)
第1回Mac入門講座
内容:ワープロ講習
(使用ソフト「word perfect」)
参加者:約40名

この日運悪く、担当者の1人、柳田が出張で不在。今までコンピューター教育に関しては、だいたい3人で取り組んできましたから(私は枯れ木も山の賑わい…ただ居るだけの事が多い)、1人欠けるだけでかなりの不安感がありました。安倍も私同様落ち着

り見抜かれておりました。このことは安倍から黙っておくように言われた気がしますが、多分、私の記憶違いでしょう。午後1時過ぎから、受講者が会場のAV室(オーディオビジュアルの略、決してアダルトビデオではない)に続々詰めかけ、ほぼ定刻通りに開始しましたが、初回ということもあり、予想以上に盛況で、台数が足りず、ご不便をお掛けしました。内容はワープロソフト「Word perfect」の基本的な操作方法の説明、実技、もう少

し高度な使用法の説明と、多少欲張った感がありましたが、受講者の方々の熱心さに、ついつい時間オーバーしてしまいました。休憩時間もMacから離れず一心不乱に模範文例を打つ方が多く、普段の授業にない熱気に、(こんな事を書いたら学校長いや、キリスト様からお叱りを受けるかもしれませんが) 安倍の教師魂が触発されていたようです。講習会終了後、皆さんから、「さすがに学校の先生ですね。説明が分かり易かったです。」とのお礼の言葉を頂き、お世辞だったのかもしれませんが、満足感に浸ることができました。終了後、講師の安倍の慰労を兼ね、2人で松園の「養老の滝」で飲み明かした事はいうまでもありません。

6月17日(土)
第2回Mac入門講座
内容:表計算ソフト講習
(使用ソフト「Excel」)
参加者:約30名

またまた運悪く、柳田が出張で不在。日程が調整できないため、IMF例会の日ともぶつかり、失礼しながらの講座でした。今まで98を使って(驚くこと無かれ、ソフトは「Multi plan ver 3.1」なんです)きましたが、未だ大多数の人は、単なる点数の入力マシンとしてだけ、利用している状況で、全く広がる気配がありませんでした。そこで、インターフェイスのよさを武器に、布教する絶好の機会として、期待を寄せた講座でした。内容は、前回同様、基本操作の説明に始まり、実技、応用編の説明で締めくくりましたが、教職員以上に、他の受講者の方からの反応がよく(これは、我々の評価というより、Excelの評価なんだろうが)、正直言って、こちらが驚かされました。さて、主目的の、本校教職員の方はというと、成果はぼちぼちというところでしょうか。

(…急いで事は仕損じる。…)

ところで、この講座では、大失敗がありました。画像転送システムが、働かなくなったのです。実は、午前中にあったAV室での授業で、生徒がキー

を曲げてしまい(AV室の機材は、自動車の様に、キーを差し込んでスイッチが入る。これがないと全く機能しない。)、差し込み口に入らなくなりました。スペアキーを作ってませんでしたから、さあ大変。急速、安倍の説明時間を、予定の30分から1時間に引き延ばし、その間私が何とか元に戻しました。受講者の皆さん、口頭での説明がいやに長いと感じたのには、実は訳があったんです。失礼いたしました。



7月1日(土)
第3回Mac入門講座
内容:DTP講習
(使用ソフト「Page Maker」)
参加者:約30名

DTP講習は、本校内にパワーユーザーがいないため、テレビ岩手の照井さんに講師をお願いして、開催致しました。ご多忙中にも関わらず、非常に分かり易いテキストまでご準備頂き、この場を借りて、厚くお礼申し上げます。第3回の講座は、我々も、一受講者として参加できるため、心待ちにしておりました。内容は、「マニュアルを読まなくても、ここまでできるDTP」(間違っていたらご免なさい)のタイトル通り、一見難しそうな回り込み等を、分かり易く解説。ある程度の知識はあったつもりですが、よりエレガントなレイアウトの仕方等、参考になる点が多く、早速、学級通信に利用させていただきました。何せ、私には、美的センスが全くとっていい程ありませんので、テクニックより、センスの面で勉強になりました。DTP

は、今までの2回の講座と比べて、少し高度な印象を与えるのか、本校教職員の参加は、5人(我々3人を含む)に過ぎず、座席が空くものと予想していましたが、満席に、ニーズの多さを実感しました。後半、スキャンした画像データの、補正方法にまで話が広がり、テレビ局という、画像処理の最先端で行われている技の、ほんの一端をかいま見させて頂きました。しかし、Macを操ろうという人は、番外の内容にも、興味深く聞き入る人が多いですね。

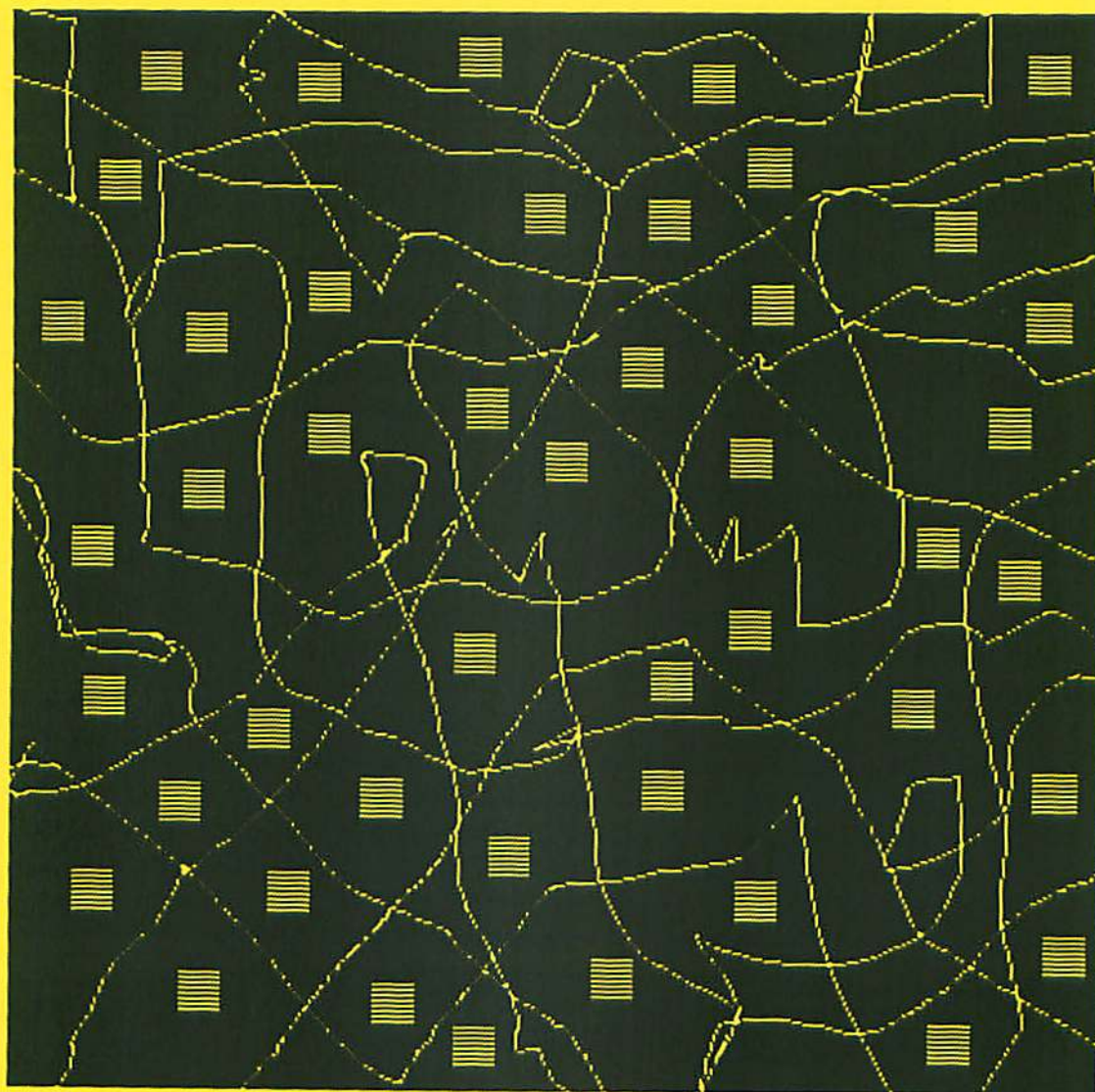
終わりに

今回、このようなMac入門講座を実施致しましたが、これで終わりではなく、次なる講座を、また企画中です。

(ついでに、次なる顛末記も、私よりも筆の立つ安倍、または柳田から出てくる筈です。多分、これより面白いものが読めるでしょう。乞う、ご期待。)グラフィック、通信といったものを候補に考えているところですが、まだまだ煮詰めるところまではいっていません。もし、今後の講座について、ご意見、ご要望がありましたら、お気軽に、白百合の安倍、柳田、または佐藤までお寄せ下さい。また、グラフィックなど、我々3人では講師として未熟な分野につきましては、IMFの、パワーユーザーの方々に、講師の依頼に伺うことがあるかと思えます。その際には、宜しくお願い致します。最後になりましたが、稚拙な文章に、終わりまでお付き合い頂いたことに感謝します。

文章:盛岡白百合学園中学高等学校
教諭 佐藤安男

林檎ギャラリー



1995-8 瀬川 昌男

編集後記



今回ははじめてPageMaker5.0を使いました。1.0のころからくらべると格段に機能アップしましたが、使用するメモリも数倍になっています。中間が快適なのですが、。今回はMMMとインターネットと話題が尽きませんね。

佐々木明宏



インターネット接続のため、多数の方々からご支援をいただきました。技術的・政治的な課題も克服しやっと立ち上がりましたが、この環境をどう活用していくかが課題です。参加者の皆さんの今後の研鑽に期待します。

野村

副編集長に就任して、ほとんど仕事らしい仕事もせずにはじめての林檎を出すことになってしまいました。編集委員の皆さん本当に申し訳ありません。今後とも、足手まといにならないようにがんばりますので皆さんよろしくお願ひします。

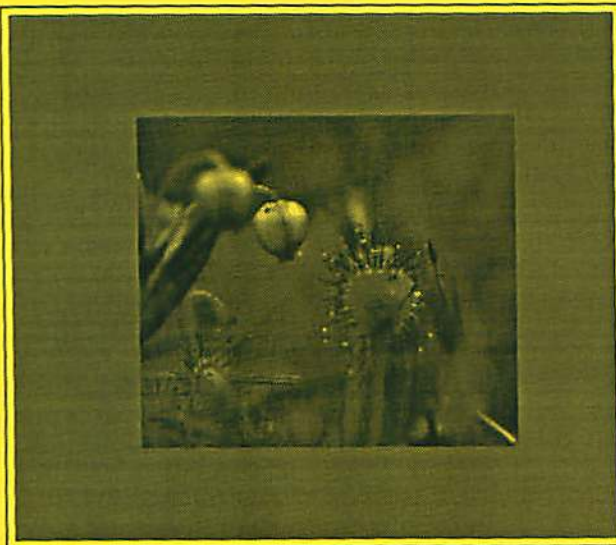
菟



今回も皆様のご協力で35号を発刊できました。お二人の「私のMac life」楽しく読みました。一井さんが進水をいきなり釧路川でしたお話はわくわくしながら読ませていただきました。

MMMで皆さんにお会いするのを楽しみにしております。

佐藤



会員名簿

浅野 恵治	仙台市	戸田 文彦	IMF234	盛岡市
安倍 富士男	盛岡市	苦米地 怜		八戸市
阿部 好晴	IMF203	豊間根 道子		盛岡市
飯岡 史朗	IMF224	永澤 幸雄	IMF118	盛岡市
池内 達	IMF210	長土居 正弘	IMF087	盛岡市
池田 学	IMF114	浦安市		盛岡市
石田 宏		西島 光茂	IMF017	盛岡市
一井 誠	IMF122	根本 聰彦	IMF042	札幌市
伊藤 光司	IMF077	野村 行憲	IMF000	盛岡市
祝田 美子	IMF227	福田 健次	IMF005	盛岡市
宇佐美 公生	IMF228	藤澤 義榮	IMF209	花巻市
大河原 清	IMF021	藤村 洋	IMF028	盛岡市
大木 哲	IMF206	古川 裕一	IMF225	盛岡市
沖野 覚	IMF044	堀田 佳夫	IMF233	盛岡市
小原 康正	IMF222	本多 健一郎	IMF025	盛岡市
鎌田 五百枝	IMF213	三浦 吉範		盛岡市
神 達宏		村上 宏文	IMF099	盛岡市
菅野 研一	IMF211	村上 弘行	IMF049	盛岡市
菅野 卓矢	IMF006	室橋 正	IMF208	村上市
木村 栄子	IMF120	本館 康司	IMF013	花巻市
工藤 聡	IMF094	柳田 久弥		稗貫郡石鳥谷町
熊谷 朋也	IMF008			
小林 隆	IMF212	藪 敏裕	IMF214	盛岡市
小松 寿夫	IMF102	山本 淳	IMF034	盛岡市
近藤 英一	IMF226	吉田 新二	IMF020	盛岡市
斎藤 秀一	IMF109	渡辺 浩志	IMF069	能代市
斎藤 博之				
笹川 順子				
佐々木 明宏	IMF088			
佐々木 雄久	IMF202	岩手町		
佐々木 文雄		紫波町		
佐々木 光夫	IMF121	大畑町		
佐々木 吉信	IMF215	盛岡市		
佐藤 顕	IMF093	仙台市		
佐藤 雅子		盛岡市		
佐藤 学	IMF119	宮守村		
佐藤 護人	IMF010	盛岡市		
佐藤 安男		盛岡市		
波谷 芳三		盛岡市		
白石 隆	IMF039	盛岡市		
白石 雄一	IMF205	盛岡市		
白沢 道生	IMF207	盛岡市		
菅原 忠雄	IMF124	花巻市		
杉村 栄一	IMF036	盛岡市		
杉村 峰秀	IMF113	花巻市		
鈴木 裕之		盛岡市		
瀬川 昌男		盛岡市		
平 靖夫		盛岡市		
高島 浩一郎	IMF012	盛岡市		
高橋 晃	IMF031	盛岡市		
高橋 浩幸	IMF091	盛岡市		
谷口 和美	IMF221	盛岡市		
千葉 智彰		玉山村		
千葉 浩保	IMF126	盛岡市		
土村 中	admin	盛岡市		
照井 芳夫	IMF026	花巻市		
遠山 明人	IMF200	盛岡市		

例会案内

9月 16日(土)
10月 休止
11月 18日(土)

14:00 開場
15:00 例会
17:30 解散

場所:
岩手大学教育実践研究指
導センター

MMMのお知らせ

日時：95年10月21日（土曜日）
14:30 ~
22日（日曜日）10:00AM

場所：ぬくもりの里NUC
（ヌック）
岩手県医療局職員互助会福
利厚生施設

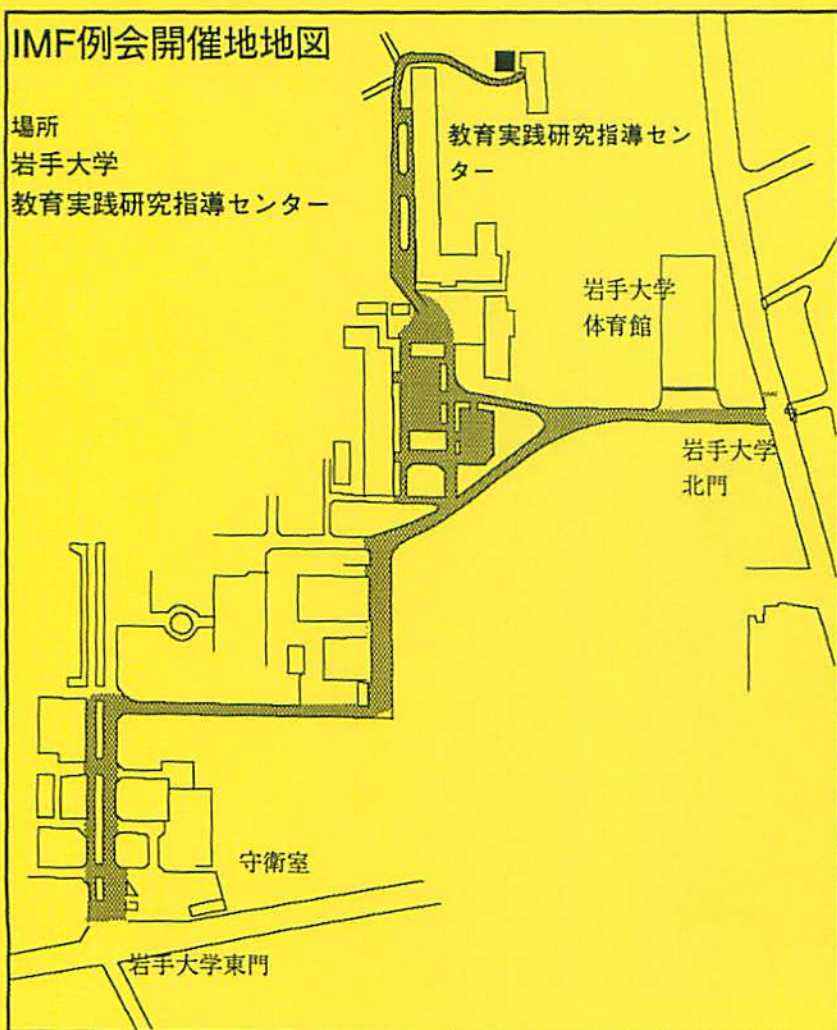
岩手県磐石町長山52岩手山7
Tel：0196-93-3861
詳細は6ページをご覧ください。



例会の後で、場所を
変えて編集会議を行っ
ています。お時間のあ
る方ご一緒しません
か？とっても楽しいで
すよ！とても勉強にな
りますよ。

IMF例会開催地地図

場所
岩手大学
教育実践研究指導センター



「林檎」35号は...

First Class	ATOK8
Color Magician	EG-Bridge
EG-Word	Freehand
HyperTerm	Illustrator
MacPaint	MacVJE
MacWrite	NinjaTerm
NISUS	PageMaker
PhotoShop	SoloWiter
StreamLine	SuperPaint

等で作ったものをPageMakerでま
とめLaserWriter, Microlineでプリ
ントしました。

「林檎」第35号 1995/8/19

編集長 佐藤 護人
発行 岩手Mac友の会
代表者 野村行憲

020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品